

1 感震ブレーカーの有償配布と設置の啓発について

- (1) 阪神・淡路大震災や東日本大震災では通電火災により、助かる命をなくした多数の死者が出た。その後、通電火災対策がクローズアップされるとともに、その対策が急がれている。通電火災をどう捉えているか伺う。
- (2) 通電火災対策についての考えを伺う。
- (3) 通電火災対策として感震ブレーカーの各家庭への設置に向け、防災行政ラジオと同様に有償配布する仕組みを作ってはどうかと考えるが見解を伺う。
- (4) 同時に、全世帯設置に向け市民に啓発を行う必要があると考えるが見解を伺う。
- (5) 通電火災によって指定避難所が火災となり、指定避難所が使えなくなる恐れがある。避難所となる施設に感震ブレーカーの設置が必要であると考えが見解を伺う。